社会　労働安全衛生への取り組み

Social

考え方

EKKグループは、経営理念である「愛情と信頼に基づく人間尊重経営」とグループ安全基本理念である「安全は人間尊重経営の礎　私の願い、私の使命」に基づき、心身ともに健康で安全な職場環境づくりに取り組んでいます。

労働安全衛生方針（2018年5月1日改訂）

▼グループ　安全基本理念

『安全は人間尊重経営の礎　私の願い、私の使命』

▼基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、グループ安全基本理念のもと、
心身ともに健全で活力ある人材を育むと共に、無事故・無災害で快適な働き甲斐のある職場の実現に向け、
労働安全衛生マネジメントシステムの考え方を活用して労働安全衛生活動に取り組みます。

▼行動指針

1. 全従業員の参加・協力のもと、事業活動に伴う危険源を的確に把握して評価し、重大リスクの低減に取り組みます。
2. 労働安全衛生目標を設定し、継続的改善により、パフォーマンスの向上を図ります。
3. 法規制及び同意するその他の要求事項を順守します。（その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の指針・綱領」等をいいます。）
4. 労働安全衛生及び健康確保は、良好なコミュニケーションの下に実現されるとの認識に立ち、職場での活発な話し合いを尊重します。
5. 労働安全衛生及び健康の確保に必要な教育・訓練を実施し、労働安全衛生及び健康の重要性について周知に務め、意識高揚を図ります。

中期安全衛生計画の策定

中期安全衛生計画（2023年度～2025年度）を策定し、以下の目標に向け活動を進めています。

1. 労働災害ゼロ
   - 2025年度までに※第1種・2種労災ゼロ
   - 2031年度までにグローバルで労災ゼロ
2. 業務上疾病の新規発生ゼロ

※第1種労災　社会的災害防止の要求が強く、設備対策で大半が防止可能なもの
（例：機械作動部、重量物（腰痛除く）、薬液、高熱物、低温物、高所、飛来物による災害、及び急性中毒）
第2種労災　社会的災害防止の要求がやや低く、人的、管理的対応が主なもの
（例：車両、運搬機器、工具、手持ち式動力工具、ワークやバリ等の鋭利部（銅板等含む）、カバー（自動扉除く）による災害、ほこりや異物が眼に入る、及び重量物（20kgを超える）扱い中の腰痛等）

社会 労働安全衛生への取り組み

安全衛生マネジメント

「労働安全衛生マネジメント規程」に基づき、社長をトップに、安全環境品質管理室長を安全衛生統轄責任者とし、各事業場では、事業場長が総括安全衛生管理者となり、各部門長を通してライン管理者と安全衛生専任部署のスタッフ部門が連携する「ライン・スタッフ型」の労働安全衛生管理組織を設け、ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）の考え方に基づいた労働安全衛生活動を推進しています。また、これらのシステムの運用の中で毎年、全従業員が安全衛生の認識教育を受講しています。

安全衛生推進体制

EKK社長を議長とする安全衛生・環境中央会議を年2回開催し、マネジメントレビューを行っています。

さらにこれらの活動は、サステナビリティ委員会においても概要の報告と協議を踏まえ、取締役会において年度計画および実績が報告されています。

安全衛生委員会

労働組合とともに各事業場で安全衛生委員会を設置・運営するほか、中心組織として中央安全衛生委員会を設置しています。中央安全衛生委員会は、年2回、全社の安全衛生方針および進捗状況についての管理・審議を行います。

安全衛生に関するリスク管理（リスクアセスメントの実施）

新規設備の導入時には設備の安全審査を実施し、社内基準への適合状況、安全衛生上の問題有無の確認を行い、リスク低減に努めています。また新規の作業を行うときは、リスクアセスメントを実施し、労働災害の未然防止を進めています。

既存の作業については、既にリスクアセスメントが完了していますが、労災事例やヒヤリハットなどの情報から定期的な見直しを推進するとともに、事業所ごとにリスクの高い作業・業務（高所作業、プレス作業、フォークリフト作業等）を抽出し、重点的に改善及び管理策の強化を行うなど、リスクを分類して管理しています。作業の管理状況の確認や潜在リスクの抽出のために定期的な安全衛生パトロールも実施しています。

安全の誓いの日

安全は全てに優先するという考えのもと、毎年3月22日を「安全の誓いの日」に制定するとともに、継続的な安全文化の醸成を図るため、毎月職場ごとに安全衛生ミーティングを実施しています。

海外関連企業への取り組み

海外関連企業に対し、定期的な労働安全衛生巡視を実施しています。特に労働災害が発生している企業に関しては、より強く連携を図り、地域の特性・文化を尊重しながら情報提供ができるよう心がけています。

交通安全の取り組み

EKKグループでは、従業員とその家族を幸せにするという経営目標の実現のため、さらに地域住民の方々の安全確保のために、交通安全教育に積極的に取り組んでいます。夏と冬の長期連休前には交通安全講話を外部の有識者に依頼し、各事業場所在地域特有の状況や最新の交通安全事情を紹介するなど、効果的な交通安全講話となるよう工夫しています。

また、社外の交通安全運動への参画などによる従業員の意識高揚を図り、年間を通した無事故無違反の達成を目指しています。

労働安全衛生に関する主な取り組みの実績（2024年度実績）

No	安全衛生項目		目標	活動内容・結果	活動	実績
1	労働災害リスクの低減	重量物取扱い作業	腰痛災害0件	腰痛労災2件（前年対比△1件）	○	×
		高所作業	高所作業労災0件 高所作業の改善（廃止）	高所作業労災発生0件 11件の作業を改善（廃止）		
2	管理対策の推進	回転物操作作業	管理手順の整備・管理継続	作業者認定制度の整備及び運用継続	○	×
		会社起因の労災撲滅	第1種、第2種災害の削減	実績7件（前年同期比△3件）		
		海外会社	海外関係会社の労災0件	労災8件（前年同期比△2件）		
3	化学物質管理の強化		化学物質の労災0件 化学物質RA完了	化学物質の労災が1件発生	○	×
				完了率：94.0%		
4	全従業員による安全衛生活動	パトロール	改善率100%	改善率：85.8%	○	○
		ヒヤリハット	改善率100%	改善率：89.0%		
		安全意識調査	安全衛生意識の向上	「安全第一」の意識向上		

安全衛生関連データ

▼労働災害データ（製造業全体とEKK国内グループ各社の比較）

項目	休業強度率	2022年度	2023年度	2024年度
休業災害度数率	製造業（暦年）	1.25	1.29	1.30
	EKK国内グループ会社	0.72	0.14	0.58
休業災害強度率	製造業（暦年）	0.08	0.08	0.06
	EKK国内グループ会社	0.003	0.001	0.020

▼ISO45001認証拠点数

製造を行う国内事業場、国内グループ会社は14拠点あり、全ての拠点で認証を取得しています。

健康増進

従業員の心身の健康維持・増進を図り、活力ある人材を育むため、セルフケア支援を推進しています。24時間電話健康サービスを通して、自身の健康相談だけでなく、子育てや介護相談などにも幅広く対応しています。

年に一度行う管理職研修の項目としてメンタルヘルスを取り入れているほか、新入社員研修でも保健師からの健康教育としてメンタルヘルスについて教育しています。

各事業場では外部の医師を講師として招き、メンタルヘルス教育を行っています。特に2交替・3交替制を敷いている工場では、交代勤務者の疲労回復のために睡眠が重要であることから、良い睡眠をとるためのポイントを上長から教育する機会も設けています。

産業医、保健師、看護師、管理職が共同して、従業員のメンタルヘルスに取り組む等、心身の健康管理を積極的にサポートしています。